

# ことばの障害

～失語症とその関わり方について～

2010.4.23 言語聴覚士 工藤香奈絵

## 失語症とは？

○言語障害の一種

**原因** 脳卒中（脳梗塞・脳出血）  
交通事故による脳外傷



一度獲得された「ことば」を使うことが  
難しくなる。

※左半球が損傷されるため、  
右片マヒを伴うことが多い(右利きの方に多い)。

## ことば(言語機能)とは？

- |     |                |
|-----|----------------|
| ①聞く | 相手の話す内容がわかる    |
| ②話す | 自分の言いたいことを伝える  |
| ③読む | 音読する、黙読する      |
| ④書く | 言いたいことを書く、書き取る |
| ⑤計算 | ＋、－、×、÷        |

⇒失語症では、全ての側面が障害される。

## 失語症状



### 1) 聞くことの障害

- ・難聴とは違う。
- ・ことばは聞こえているのに、ことばを聞き分けられない。
- ・ことばの意味を理解できない。



相手の話している内容を正しく理解できない。

### 2) 話すことの障害

#### ① 喚語困難

言いたいことばが、見つからない。  
失語症が軽くなっても最後まで残る症状。

例・「ここまで出てるんだけど．．．  
なんだっけなあ」

・りんご；…あの一赤くて甘いもの

## 2) 話すことの障害

### ② 錯語

目的のことばとは別のことばや音になること。

例)



→ 「みかん」



→ 「ねがね」 ●

## 2) 話すことの障害

### ③ シャーゴン

無意味なことばの羅列。

例

「ごじだ」

「みぐおなおかかゆ」

### ④ 残語

いつも同じことばや音で話すこと。

例) 調子はどうですか? 「タン。」

天気がいいですね。 「タン。」 ●

## 2) 話すことの障害

### ⑤ 助詞や助動詞の誤り (文法の誤り)

助詞(「が、は、を」など)の使い方を間違ったり、抜いてしまう。

例) 今日、天気、晴れ  
今日が天気を晴れ ●

## 3) 読むことの障害

- ・文字や文章を声に出して読むことが難しい。
- ・書いてある内容を理解することが難しい。

特に仮名文字の理解が難しく、漢字の方がわかりやすいことが多い。 ●

## 4) 書くことの障害

- ・文字が書けない。
- ことばが浮かばない、文字が思い出せない
- ・書き誤る。

「話すのが難しいなら、  
書いてみて」

一般的に話すことよりも書くことの方が難しい。 ●

## 5) 計算の障害

- ・ $+$  $-$  $\times$  $\div$ ができない。
- ・繰り上げや繰り下げがわからなくなる。 ●

## 失語症のタイプ

1. ブローカ失語
2. ウェルニッケ失語
3. 全失語



### 1. ブローカ失語

〈特徴〉

○ 聞くこと

○ 読むこと

- ▲ 話す 喚語困難、錯語、短いことば
- ▲ 音読する
- ▲ 書く

### 2. ウェルニッケ失語

〈特徴〉

▲ 聞くこと

▲ 読むこと 文字と絵のマッチングは可能なことがある

▲ 話すこと スラスラと話すか、錯語やジャargonが混じるため、内容が相手に伝わりにくい

▲ 音読する

▲ 書くこと

### 3. 全失語

〈特徴〉 すべての障害が重いタイプ

▲ 聞くこと

▲ 話すこと

▲ 読むこと

▲ 書くこと

発語も少なく、あるいはほとんど聞かれない。  
聞いたり文字を見て理解することもできない。

## コミュニケーションのポイント



### ① 短く簡単に話しかける

- ・ はい - いいえで答えられる質問をする
  - ・ 選択肢を提示する  
相手が答え易いように誘導する。
- 例) 元気ですか? / 元気? ますます?  
お茶ですか? ご飯ですか?

注 答えを急かさずに!!  
相手が反応するまで少し待ちましょう。  
関わり手のペースではなく、  
本人のペースに合わせましょう。

## ②手がかりを多くする

ジェスチャー、表情、文字、写真  
日常生活の場など

## ③話題を限定する

## ④誤りを訂正しない

間違いを訂正するのではなく、正しいこと  
ばで確認するのがよいでしょう。

## ⑤会話の機会を減らさない



コミュニケーションは「ことば」  
だけでなく、心がふれある活動。  
楽しくやりとりできるよう  
周囲のサポートが大切！



ご清聴ありがとうございました。

